

一樹が行く!

叔父ランチ倶楽部 ~ミックスジュース編~



おしきがリーダーの叔父ランチ倶楽部。今回は大阪発祥のミックスジュース巡り。各地の商店街の果物屋をハシゴして、「あま〜い♡」とか「すっぱ〜い」とか「スジャータを入れてるな!」とか言いながら、40過ぎのおっさん4人で絶妙なハーモニーを満喫(笑)。ミックスジュース、みんなも飲んでみてね。

【埼玉県】田代幸英(33) 50CIMA



エアロはKブレイク コンプリートの33シーマ用がベース。33系用は開口部が広いので、彼のようにインタークーラーをバシッと見せたい人にもオススメです。ボディカラーはブラックアマジストパール。この色も高級感があっていいなって思います。

【群馬県】星野起伸(24) 18CROWN



サイドとリアとウイングはトムスをチョイス。フロントのJDMと同様のシンプルなデザインで、ブランドミックスでも違和感はない。ホイールはBBSの19インチでF8.5J-R9.5J。理想的なエアサスで、リムが被るまでガッツリとローダウンさせたのもポイントだ。マフラーはショップオリジナル品。

星野くんはイベントだけでなく、街乗りも楽しんでいるっていうのが◎。JDMはシンプルなデザインというのがウケて、お陰様で街乗り派からも喜んでもらっているんです。そして、ホイールはBBSのLM-Rチャンピオンエディション。シンプルエアロにBBSっていうのは鉄板で、とても似合っていると思います。

春先のイベントでデビューした  
こだわり満載の4台をチェック



台目は18クラウン。「仕様変更前に付けていたエアロはリップの真ん中が窪んでいて、落とし時に低く見えないのが悩みでした。KブレイクのJDMはラインが一直線で、張り出し具合も自分の理想にピッタリでした!」ですって。僕的にもJDMで一番こだわったのはリップ。シンプルで、ちょっとだけヤンチャで。そこを気に入ってくれたのがホンマに嬉しいです。このゼロクラはエアサスの落としっぷりも◎。イデアルの4独仕様で、「低いまま飛ばせるところが最高で

す」って。実は今、製作中の赤マジエにイデアルの4独エアサスを入れる予定で、この星野くんのコメントを読んで、ますます楽しみになってきましたよ(笑)。そして、次はオールペンとワイドフェンダーに挑戦予定とか。完成したら、また見せてくださいな! 2台目はマークX。全体の雰囲気はスポーツカーチックで、ボディカラーはウルトラマナー風(笑)。面白いですね。フロントフェンダーとリアバンパ

【三重県】樋口竜太郎(20) 210CROWN



すでにキャリアは2年で、結構色んな部分に手を加えています。フロントはシルクプレイズのリップの他、Jユニットのツインフォグで印象を一新。その他、アームに挑戦したり、内装張り替えをDIYでやったり、凄く頑張っている。次の目標はオバフェン。どんな感じで行くのか、楽しみにしていますよ。



ちに見せてあげてくださいな。ラストは樋口くんの210クラウン。彼は二十歳の大学生。愛車に乗って2年目ってことなんで、18歳の時から乗っていて、今回は「若い僕が210系と頑張っているのを見てください!」って熱烈アピール。僕も彼と同じ年齢の時に現行の14マジエを手に入れたんですけど、それもあって、聞かなくても彼の苦労は想像できる。服も食べ物も遊びも全部我慢してクルマに注ぎ込んでね。そうやって苦労して手に入れたモノって誇らしいし、何よりイジった現行車をその歳で乗っているってことで、周囲からの視線が半端じゃなくて、優越感も凄いですよな。彼みたいなクルマ命の若いオーナーが増えてくれたら嬉しいなあ。地元でどんどん乗り回して、ぜひ、同世代の若者たちに影響を与える存在になってくださいな。最後に少し告知(笑)。トレゾア、遅れ遅れでお待たせしてホンマにすいません。来月にはリリースできる予定です。予約の方は絶対受付中ですので、気になる方はぜひ、Kブレイクまで連絡してくださいな!

【石川県】角田颯(22) 120MARK X



ボディカラーはウルトラマン風(笑)。単なる赤とシルバーじゃなく、「ランエボXのメタリックレッド」と「ラルゴハイウェイスターのシルバー」にこだわったというのも好印象。違いを演出した前後バンパーも実に個性的。彼女のクルマも完成したら見たいなあ。



ホイールはマーベリック005S。「スポーツ感とVIP感の両方を感じられるデザインが気に入りました」。サイズは18インチのF8.5J-R9.5Jで、アウトリップ履きで迫力を演出。エアロはFがフルワンオフで、RがLDJ加工。

横に入れたダクトが秀逸で、一段凹ませた面の部分をシルバーにしてるんですけど、かなり目を引くポイントになっていると思います。辛口じゃないんですけど(笑)、ボンネットにもライン又はダクトを入れて、そこにもシルバーを使ってあげると、まとまり感や統一感がグッと高まる気がしますよ! ちなみに、「彼女にも火が付く、現

在、フルリメイク中です」と角田くん。クルマ好きの彼女って最高。羨ましいなあ。これからは愛車と彼女の両方を大切に、VIPを楽しんでくださいな。3台目は50シーマ。今月は20代前半のオーナーが多いんですけど、彼のみ、30代のベテラン。「20代の頃は鬼キャン仕様でしたが、今回は大人VIPをテーマにイジってみました」ですって。全体の雰囲気はテーマ通り、街に溶け込む高級車って感じになっている。ただ、車高はかな

り低い。今が田代くんの中の大人仕様ってなると、20代の頃は相当低かったんだらうなあ(笑)。外装はプレジ仕様で高級感を底上げ。ターボを生かしてエンジンチューンもして、そのギャップもこのシーマの見逃せない大きな魅力になっていきますね。次はリアバンパー製作が目標です。この雰囲気壊すことなく、上手くバランスを取ってください。そして、ベテランならではの洗練された作り込みを若いオーナー

**投稿募集中**

「僕も大林サンに愛車を評価して欲しい!」。そんな風に思った方は、ぜひ、編集部写真とアンケートを郵送してください。大林サンが愛情をたっぷり添えて、キミのクルマを全国の人に紹介してくれますよ。

たくさん投稿、待ってます!